

第十四回「前田純孝賞」学生短歌コンクール入賞作品一覧

【選考選考部門】

(中高校生)の部

前田純孝賞

台湾に行くから買ったアオいクツ十月下旬の青空を踏む

大阪府立夕陽丘高等学校

久保洋貴

(選評) 青い靴で青い空を踏む。飛行機の中をイメージしてもいいでしょうが、楽しい幻想と読んでもいい。

修学旅行の楽しい思い出です。

グラウンドを軽く流して駆け登るマラソン坂にひとひらの雲

長崎県立長崎工業高等学校

園田一貴

(選評) グラウンドを出て一般道に出た場面である。一片の雲を浮かせる青空が坂の上に広がっています。

雲を出して青空を表現した手腕です。

準前田純孝賞

コンパスの脚目一杯で書く円は背伸びしている恋する心

東京都藤村女子高等学校

本田しおん

「いきます」と2・7Kの砲丸を独り構えるはねる心臓

兵庫県三田市立長坂中学校

塚本真鮎

なんでなんなんで自分じゃあかんのん口から出そうで出せない言葉

兵庫県立神崎高等学校

牛尾睦美

一陣の風にさらわれ製図紙がエンピツ飛ばし宙返りする

長崎県立長崎工業高等学校

江川友也

新温泉町長賞

大阪のあなたにかける初めての台北からの国際電話

大阪府立夕陽丘高等学校

辰巳優里

おいこまれて空にヒントをもとめても自分のシャーペンが動かなかった

兵庫県西宮市立大社中学校

伊藤里紗

僕の脚ボールと触れるその瞬間自分以外の時間にとまる

兵庫県西宮市立大社中学校

柴田友樹

青空にマーチいっばい響かせて心をついに笑顔ふりまく

兵庫県芦屋市立精道中学校

矢野満里絵

たくさんの思い出もった射添中六十歳の生涯閉じる

兵庫県香美町立射添中学校

山根勇矢

桜舞うあの坂道を自転車で急いで昇ることはもうない

兵庫県立志知高等学校

岡倫也

朝いちで求人票をめぐってるトンネルに入った進路に悩み

長崎県立長崎工業高等学校

浦川翔

ギョルギョルとドリルが鳴けば木片の香り漂う実習時間

長崎県立長崎工業高等学校

工藤裕加里

空腹でモコモコ青い山の木のブロッコリーをシチューにしたい

長崎県立長崎工業高等学校

瀬戸美紗貴

あと二問母の作ったミルクティーすすって難問の峠を越える

長崎県立長崎工業高等学校

田中誠

新温泉町教育長賞

ステイックで叩く音から始まってみんなで奏でるすてきな音色

携帯で毎日撮った富士山の雪徐々にふえる冬の深まり

小さな手小さな歩幅の妹と並んで歩く小さな幸せ

枯れた木の鳥が残した巢の上に今日もつめたい雪が降り積む

真夏日の先生からのあの言葉部長になった最初の言葉

山を見る目をこらしたら見えてくるきつねの群とそれを追う者

おばあちゃん癌になんか負けないで細い指には結婚指輪

「あのころはかわいかったね」と嘆く母無視して僕は学校に行く

「割り切れる」数字ノートに書いた字が空恐ろしくて（嘘）とした

ピカピカと光り発する溶接室誰かが鉄と格闘してる

神戸新聞社賞

けものみち木々をかきわけ入りこむ取りに来たんだあの忘れ物

見あげれば緑まぶしい夏の山木々のすまに陽がつきささる

富士の山千本松のたえまより海の噂を聞いて顔出す

絵が好きで毎日通った美術室本当は君に会いたくて

広がったこの教室もいまはもうぼくの体の一部みたいだ

毎日の日暮れがだんだんおそくなり夕焼け空が長く見えるな

吹奏楽みんなで金賞目指したね一つの曲に思いをこめて

苦しみを聞いてほしくて聞きたくて気持ちもないのにやめると言った

昨日まで君を想ったあの日々に「でした。」で終わる僕の声

佳作

その壁にもたれかかるラケットのそばで同じように眠る友

おはようも愛の言葉も0と1記号化されたコミュニケーション

「はじまり」も「おわり」も全部メールだねキミはなんにもわかってないよ

冬空にマフラー手袋必需品我が自転車も寒そうである

すれちがうほんの一瞬声色が高くなってるそれって恋でしょ？

帰り道セーラー服の襟元に夕日に染まった秋風が吹く

宮城県名取市立第二中学校

静岡理工科大学星陵高等学校

大阪教育大学附属平野中学校

兵庫県西宮市立大社中学校

兵庫県西宮市立大社中学校

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校

兵庫県立浜坂高等学校

愛媛県立松山東高等学校

長崎県立長崎工業高等学校

菊地あやな

井上祐樹

李銀飛

錦織真希

松本花野

前田涼太

藤森彩

杉本和真

山中千瀬

小岩亮二

北海道岩見沢市立清園中学校

大阪教育大学附属平野中学校

大阪教育大学附属平野中学校

大阪府立夕陽丘高等学校

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校

兵庫県香美町立射添中学校

兵庫県立姫路別所高等学校

兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校

兵庫県立浜坂高等学校

松田葉月

本田和暉

東千香子

中西瀬里奈

松原圭輝

中村恵美

桂夕姫

高橋彩乃

濟木麻衣

富山県富山第一高等学校

東京都立南平高等学校

東京都立南平高等学校

静岡理工科大学星陵高等学校

静岡県加藤学園暁秀高等学校

大阪教育大学附属平野中学校

吉本晃将

奥山俊樹

中井奏恵

有賀百合子

藤井美咲

上田咲季

春ごろに捨て猫にえさやるうちに半年後には飼猫になる
 聞いてみる君の瞳に写ってる私の色は何色ですか
 卒業が近づくほどに学校が遠くに見えて少し寂しい
 アブラゼミやつと出られたからの外みずみずしい夏がともに生まれる
 気がつけばいつも見えていた好きな人伝わらないけど好きでした
 夢探す僕らはまるで蝶のようフワリと飛んでは一人で旅する
 息抜きに外をのぞけば熊親子二度と見れない三匹の姿
 啄木鳥がコツコツと木をたたくところ秋の季節が来たな
 手を痛めテニスができなくなった時自分にとつてのテニスを知った
 居場所を失ってしまいふわふわこの足が今着地する
 夕焼けが星空になるスピードに追いかけられる高三の秋
 風のように過ぎる三年思い出の花がたくさん咲いた教室
 指揮を見て答えるように音を出す一つだけの音響き出す
 夏過ぎてあの子の顔も私の顔もやさしく見える秋のおとずれ
 目を閉じて記憶をたどりいつの間にか君に会えずにまた朝になる
 コートの中君の姿は見えずともかけあう声でつながる心
 いつもいた僕の向く先君がいた遠くにいてもすぐわかる君
 人生初平和式典参加した重さ感じた八時十五分
 いつもならふざけまわって笑うのに君が見てると僕は大人になる
 旋盤の回転速度増すごとに緊張の度合比例して増す
 回路図も恋のように難しい君とケーブル危うく繋ぐ
 悪戯のワナにわざと引っかかる君から笑い取れてうれしい
 旋盤で削れば激しいザ行音作業後も耳底に残る
 水槽の模型船の向こう側かがんだ頭が見え隠れする

大阪府立夕陽丘高等学校 前中知也
 大阪府立夕陽丘高等学校 木下翔介
 大阪府立成美高等学校 采女祥子
 兵庫県西宮市立大社中学校 永田徹
 兵庫県西宮市立大社中学校 本郷美久
 兵庫県香美町立射添中学校 宮下詩帆
 兵庫県香美町立射添中学校 小谷香南子
 兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校 原口弘将
 兵庫県立社高等学校 片岡裕貴
 兵庫県立姫路別所高等学校 境彩那
 兵庫県立姫路別所高等学校 仲里華奈
 兵庫県立太子高等学校 須籓能己
 兵庫県立太子高等学校 吉野早紀
 兵庫県立浜坂高等学校 福垣明里
 兵庫県立浜坂高等学校 坂本なつき
 岡山県立倉敷工業高等学校 田中瑛
 岡山県立倉敷工業高等学校 山崎大樹
 広島県如水館高等学校 廿日出梢
 香川県立善通寺養護学校 菊井セゾン
 長崎県立長崎工業高等学校 渡部利則
 長崎県立長崎工業高等学校 山下大介
 長崎県立長崎工業高等学校 森将平
 長崎県立長崎工業高等学校 森嶋翔太
 長崎県立長崎工業高等学校 荒木翔太郎

【学校表彰の部】

【学校特別賞】

大阪府立夕陽丘高等学校
 兵庫県西宮市立大社中学校
 長崎県立長崎工業高等学校

【学校賞】

大阪教育大学附属平野中学校・兵庫県立八鹿高等学校・兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校・
 兵庫県立浜坂高等学校・兵庫県赤穂市立赤穂東中学校・兵庫県新温泉町立夢が丘中学校

(大学生の部)

前田純孝賞

集中力ふいに途切れてふとももの寒さきわだつ冬の図書室

(選評) 誰でも体験する日常の一場面を、的確に表現しています。誰もが体験することでも、それに気づき、表現できる人は少ないのです。

島根大学

松近悠

準前田純孝賞

ここで君と話がしたい防波堤すわって白い船を見ている
小さな箱で一つの命が動いてる無力な私に胸が痛む

日本大学大学院
川崎医療短期大学

勝俣文子
太田侑希

新潟県長賞

くだらない話積み上げ爆笑でくずしてはまた・・・と午後の学食
食卓のひと隅いつも空けてある祖母の笑顔があつたその場所
ひらがなを覚えた頃から傍にいて未だ話の尽きない二人
睡魔との戦い終えたノートには修正ペンの白旗上がる
先生と呼ばれていても気づかない保育所実習初めての経験

早稲田大学
青山学院大学
茨城大学
河合塾予備校
川崎医療短期大学

後藤成美
今野陽太
大島愛美
横井光太郎
瀧川由梨香

新潟県教育長賞

「好き」と言えば「好きだ」と笑うあなたこそが冬の私をあたたくくする
奥山のわずかに人の住む辺り芹摘む水に春陽きらめく
必要とするけどふと気づかされる必要とされてはいないんだと
初みかんいまだ青くて酸っぱくて十六歳の秋思い出す
よたよたとこちらめがけて歩み来る昨日まで立たなかつた小さな足で

青山学院大学
相模女子大学
姫路獨協大学
川崎医療短期大学
川崎医療短期大学

清水千晶
岩田怜子
内野真実
大森真波
小野麻梨奈

神戸新聞社賞

良い意味で人生を一変させるような出逢いを待つ傘差して
デザートはオレンジピールと君のキスほんのり残る苦味に夢中
何想う微笑湛えしあのひとは声柔らかにくまなざし深く
栗ご飯で感じた食欲なんだろう炊飯器から秋の香が
君は今五〇〇キロ先それなのに君を抱いた温もりはここ

早稲田大学
青山学院大学
青山学院大学
川崎医療短期大学
九州大学

萩原慎一郎
宇賀神千春
若林まち
横山賀奈子
大西隆史